

臨床研究「脳神経外科領域の周術期における最適な抗てんかん薬の選択
に関する観察研究」について

筑波大学附属病院脳神経外科では、標題の臨床研究を実施しております。
本研究の概要は以下のとおりです。

- ① 研究の目的：私たちは、日ごろ脳神経外科領域の手術（開頭、穿頭、血管内など）を行っています。術後にけいれんなどを起こすことがあり、その予防のため抗てんかん薬を用いることがあります。しかしながら、術後どの薬をどんな風に用いるのが患者さんにとって最適かはわかっていません。本研究は、平成25年以降に手術を行ったすべての患者さんを対象に行い、診療情報からより適切な術後てんかんの予防方法を探索します。
- ② 研究対象者：2013年1月1日から2022年12月1日までに当院で脳神経外科領域の手術を受けた、あるいは受ける予定の患者さん
- ③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2022年12月31日まで
- ④ 研究の方法：研究期間内の一定の期間ごとに過去の診療録（カルテ）などの情報を振り返って、術後の抗てんかん薬の種類と有害事象、術後てんかんの発生率を調べ、周術期に最も適切な抗てんかん薬を模索します。
- ⑤ 試料・情報の項目：年齢、性別、病名、既往歴、手術術式、術後バイタル、術前術後のてんかんの有無、脳波所見、頭部画像データ
- ⑥ 試料・情報の第三者への提供について：なし
- ⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者：問い合わせ連絡先内の担当者に同じ
- ⑧ 本研究への参加を希望されない場合：患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。
- ⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：脳神経外科 准教授 石川栄一（本研究責任者）

電話：平日9～17時 029-853-3220 脳神経外科 秘書室

夜間 029-853-3110 防災室